

# パソコン教室

今月もセキュリティのお話です。少しでも安心・安全に使うために、現在の設定を見直したり、更新処理のことを気にかけたり、田原の注意も必要です。

## ブラウザの安全性

インターネットで、Webページを閲覧するために使用する「ブラウザ」ソフト。今年の2月号でも特集しましたが、様々なブラウザソフトが存在しています。Windows10に標準でついているのは「エッジ（Edge）」と「インターネットエクスプローラー（IE）」の2種類です。どちらを使っても表示されるページは同じものです。ただソフトが異なりますので、使い勝手も若干異なります。

では、なぜ2種類も標準で用意されているのでしょうか。新しい仕様で作られているのは「エッジ」です。「IE」は古い仕様で作成されています。新しい方だけがあれば良いのですが、実際のWebページには古い仕様で作成されるものもまだたくさんあります。古い「IE」でないとうまく表示されない場合もあります。そのため新旧の2種類が用意されています。

ページを作成する側も、仕様を新しく変更する作業もおこなっていますが、追いついていないのが現状のようです。

古い「IE」の利用はなるべく避けておくほうが無難です。仕様が古いために他のブラウザに比べてセキュリティの「脆弱性」が多く存在し、ウイルスの感染などがやはり気になります。

## 動く画像にも注意

Webページの中には、ユーチューブなどのビデオ映像の他に、ページ内で動く画像が配置されているものもあります。その中には「ラッчик（Flash）」という仕組みを用いているページもたくさんあります。このFlashという仕組みは、再三セキュリティ上の脆弱性が発見されてしまふ。そのままの表示にしておくとFlashで動く動画を利用したウイルスに狙われているかもしれません。

そのためにブラウザには、Flash動画を再生しないオプションがあります。自動で再生されないように「無効」にしておきましょう。



## 広告表示を調整

昔前では、ページに表示される広告は固定されていました。最近はどんどん技術も進歩してきて、同じページでも使い手によって表示が変わるものになっています。そのため、どのページを見ても似通った広告が表示されることにお気づきでしょうか。

これは「クッキー（Cookie）」と呼ばれるデータが利用されています。クッキーは、Webページを見る毎にパソコンに保存されています。その内容には、「ページを見た履歴」なども含まれます。広告を配信する側ではこのクッキーを参照して広告を表示する仕組みになっています。広告の表示は止められませんが、この仕組をブロックする事もできます。ただ、中にはブロックすると、ちゃんと表示できないページも存在しますので、その時は切り替えて表示するようにしましょう。

## ソフトのアップデート

先月はWindowsアップデートについて触られましたが、OS以外のソフトもアップデートが必要です。ワードやエクセルの「オフィス（Microsoft Office）」。使用中に更新の案内が表示されたり、画面右下に案内が出たりします。

他にインストールしているソフトが有れば、同様にアップデートが必要です。都度表示される案内に従いましょう。

その他、JAVA、Adobe Air、Adobe Flash Player。これらも画面上に案内が表示されます。

少しでも安全に使用するために、現行の設定を見直したり、OSなどのアップデートは怠らないようにしましょう。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。  
新聞バックナンバーもご覧いただけます。

